

平成27年度

社会福祉法人あゆみの会

事業報告書

社会福祉法人あゆみの会

1. 総論

平成27年度は「伊佐沼すまいる保育園」(以下「伊佐沼」と言う)の運営に加え、平成27年4月開所の姉妹園「三丁目すまいる保育園」(以下「三丁目」と言う)が開所、それと合わせ、平成28年4月に開所する鶴ヶ岡すまいる保育園を建設しました。施設の拡大に伴い、事務作業も増えており、本部機能の強化による事務の合理化や簡素化が課題として浮上してきました。

また、施設が増えることで保育の質が低下することのないよう、引き続き、職員の採用と研修の充実。幹部・中堅職員の育成を進めていく必要を感じた一年でありました。

社会福祉法人の制度改正について、法の主旨をしっかりと踏まえ、社会福祉の増進に向けて具体的に取り組んでい参ります。

2. 各論

(1) 伊佐沼すまいる保育園

本年は、4月当初、近隣に地の利の良い認可保育園が新設されたこともあり、定員を割れる状況が数カ月続きました。職員一同、「選ばれる園」にしていくために、保育の質の向上に勤めました。

「科学をする心を育てる」という保育テーマを掲げ、保育指針に基づく保育を進めるため、チェックシートにより自らの保育スキルと保育環境の整備を図るとともに、お弁当の日等に川越市内や丸山公園などの園外活動を増やしていきました。

研修の充実やヒヤリハット・チェックリストでの安全管理に努めた結果、新入職者も含め、保育指針をベースに議論・研鑽をする基盤が出来ました。また、けやの森学園、お茶の水女子大学付属幼稚園との交流などを通じ、見守る保育について確信を得ることが出来ました。確信をもって、保育を進めた結果、平成28年度については、開所当初より定員を上回る園児を受け入れることが出来ました。

(2) 三丁目すまいる保育園

三丁目すまいる保育園は、理事長が30年以上運営してきた家庭保育室「すまいるキッズ」を発展する形で設立され同施設の在った場所に設置されました。職員については「すまいるキッズ」で採用された職員、「伊佐沼すまいる保育園」で採用された職員、「三丁目すまいる保育園」で採用された職員、新規採用者で構成され、施設長は初代伊佐沼すまいる保育園園長が赴任しました。

ふじみ野市で初めての乳児だけの認可保育園としてスタートしましたが、ハロウィンで地域の方と交流を持ったり、地域の清掃や行事に積極的に参加をすることにより、ある程度の理解を深めて頂けたものと思います。また、卒園後の連携施設が整備されておらず、保護者の方から卒園後の保育について保障を求める声も出されました。行政とも連携し、来年度以降、重点的に取り組んでいくこととしました。

(3) 鶴ヶ岡すまいる保育園

鶴ヶ岡すまいる保育園は、閉所となる鶴ヶ岡保育所の代替園として平成28年度よりスタートする新園です。新園の建設に向けて、園舎等の整備を進めるとともに、職員採用と研修を重ねて参りました。また、既存園職員との交流や合同研修を進めました。新卒者については、男性4名、女性3名、管理栄養士1名の計8名を採用、中途入職者や公立保育園の臨時職員の方から入職いただいた方などにより、職員体制を整備することが出来ました。

また、保護者の方への説明会を開催いたしましたが、保育の内容につきましては、開園後もしっかりと伝えていきたいと思えます。

(4) 本 部

経理・労務・庶務の合理化を進めるため、伊佐沼、鶴ヶ岡、三丁目の経理システムをMAN90のすずらん统一到した。納税・社会保険や労務書類の作成・提出を、本部で一元管理しました。

インターネットのクラウドサービス、サイボウズを導入し、3園でのデータの共有化を行うとともに、過去分データのデータベース化を進めることができました。

三丁目すまいる保育園にセコムの監視付金庫を設置、預金通帳、預り金や法人印等の管理をより厳重に行うことが出来るようになりました。

以上